

## 中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	英語運用能力特別入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

### 【解答例】

(I)

- a 膨大な処理能力を必要とする生成 AI の開発競争が世界中で加速するなかで、データセンターはとりわけテック企業にとって、巨大な産業になりつつある。
- b 市職員によれば、成田空港近郊のこの都市は、2023 年の固定資産材収入として 10 年前の 2 倍にあたる 162 億円を集めており、そうした成長の大部分がデータセンター関連企業のものであった。

(II)

Data centers in Japan are being constructed in proximity to major cities for convenient access to consumer markets. This decentralization has been shown to alleviate economic concentration in Tokyo, while providing local governments with the opportunity to increase tax revenue. Not surprisingly, this trend has also raised discussions regarding environmental impacts, information security, and disaster risk mitigation.

Several concerns in particular have raised community attention. One is substantial consumption of electricity and fresh water leading to negative environmental impacts. Another problem is the lack of legal classification of data center buildings in Japan. The potential exists for their construction in residential areas, thereby giving rise to physical and social impacts on local residents that are frequently undesirable. Consequently, there have been instances where residents near planned data centers have voiced their opposition.

Considering the projected surge in generative AI utilization, the construction of data centers has become imperative. In addition, recognizing that local governments often face financial constraints during periods of economic decline, efforts to attract the tax revenue of new data centers is a logical course of action. However, it is also crucial for local communities to prioritize the safety and well-being of residents.

Therefore, I think community discussions should persist until local governments and residents reach mutually acceptable agreements on overall community planning and design, including approval of data center construction. While the implementation of countermeasures to manage electricity and freshwater consumption cannot be solved immediately, the legal status of data centers should be the subject of expeditious Diet discussion and their status defined by law. Above all, in order to mitigate potential concerns among local residents, it is imperative to exercise caution and refrain from initiating construction in residential areas or their immediate vicinity. (287 words)

## 中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	英語運用能力特別入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

### 【解答・解答例】

#### [問 1]

ヘイトスピーチは許されない。ヘイトスピーチ対策法の制定により、差別的な街宣やデモ活動の減少という効果が現れたものの、インターネット上の対策は不十分であり、差別的な書き込みは後を絶たない。実態調査や、刑罰をもって差別的言動を禁止する法改正の検討など、ヘイトスピーチの根絶に向けて努力を重ねる必要がある。

#### [問 2]

2016年に、市民団体による差別的な街宣・デモ活動が深刻な社会問題となったことを契機として、ヘイトスピーチ対策法が施行されたものの、それから約10年を経過しようとする現在でもなお、SNSなどでは、特定の人種や民族を差別するような攻撃的な書き込みが数多く見られる。その要因の一つは、ヘイトスピーチ対策法には、「（国民は）不当な差別的言動のない社会の実現に寄与するよう努めなければならない」といった基本理念などが掲げられているものの、不当な差別的言動を禁止・処罰する規定が存在しないことにあると思われる。

例えば、近時、インターネット上の誹謗中傷が大きな社会問題となっていることを受け、侮辱罪の法定刑を引き上げる刑法改正がなされたことは記憶に新しい。ヘイトスピーチへの望ましい対応策として、このように刑事罰を積極的に活用すること、より具体的には、ヘイトスピーチ対策法に罰則規定を設けるべきであると考え。実際に川崎市では、罰則付きで禁止する条例が制定されているとのことである。

もっとも、言論活動そのものを処罰するということは、憲法が保障している表現の自由の侵害となるおそれがあり、もし罰則規定が公権力によって恣意的に解釈・運用されることとなれば、萎縮効果を招きかねない。それゆえ、具体的な罰則規定を設けるにあたっては、ヘイトスピーチが特定の人々の尊厳を傷つける重大な行為であることを踏まえつつも、表現の自由の保障にも十分配慮すべく、恣意的な解釈を許さないような明確な規定を模索すべきである。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	英語運用能力特別入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

#### [問1]

課題文全体を的確に要約することができるかに着目して採点を行った。課題文は新聞の社説であり、そのタイトルも示すとおり、ヘイトスピーチ撲滅のために更なる努力の必要性を説くものであることから、解答にあたっては、課題文の具体的記述をただ継ぎ接ぎしていくのではなく、こうした課題文の主張を中心に据えて要約することが重要である。

#### [問2]

課題文および資料から必要な複数の視点や考慮要素を読み取った上で、それらを適切に衡量しながら、ヘイトスピーチへの望ましい対応策について、自分の意見を説得的に述べることに着目して採点を行った。ヘイトスピーチへの対応策は複数想定されるところであり、どのような対応策を望ましいと考えるのか、結論そのものはいずれでも構わない（したがって、【解答・解答例】に示したのもあくまで一例にすぎず、それ以外の対応策もさまざまに考えられよう）。もっとも、複数の利益や価値の対立が避けられない問題であることから、なぜその対応策を望ましいと考えるのか、自分の意見を支える根拠を提示することはもちろん、その対応策に伴うであろう問題点や課題についても言及しながら、比較衡量に基づいた説得力のある論述を行うことが重要である。

## 中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	英語運用能力特別入試
学部（学科/専攻）	法学部
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

### 【評価の視点】

- ・ 思考力、判断力、表現力、主体性、協働性
- ・ 面接での質問に対して適切に回答する能力
- ・ 志望動機や学習意欲についての説明能力